

# 平成25年度決算について

平成25年度決算が、平成26年5月27日開催の理事会で承認・確定されました。以下、計算書類の内容の概要を説明します（詳細については、学園ホームページをご覧ください）。

## 資金収支計算書 平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：円)

収入の部				支出の部			
科目	平成25年度決算	平成24年度決算	増減	科目	平成25年度決算	平成24年度決算	増減
学生生徒等納付金収入	5,477,956,400	5,429,704,683	48,251,717	人件費支出	3,689,344,408	3,596,779,319	92,565,089
手数料収入	100,382,180	110,656,540	△ 10,274,360	教育研究経費支出	1,187,661,981	1,221,269,338	△ 33,607,357
寄付金収入	147,874,604	156,315,970	△ 8,441,366	管理経費支出	719,963,852	701,780,216	18,183,636
補助金収入	728,832,861	820,921,674	△ 92,088,813	施設関係支出	117,091,800	753,148,757	△ 636,056,957
資産運用収入	33,985,237	37,555,744	△ 3,570,507	設備関係支出	115,350,807	251,132,253	△ 135,781,446
資産売却収入	100,000,000	0	100,000,000	資産運用支出	5,918,390,000	4,101,190,000	1,817,200,000
事業収入	120,571,116	118,211,530	2,359,586	その他の支出	6,579,552,489	6,519,646,738	59,905,751
雑収入	193,910,362	137,575,295	56,335,067	[予備費]			
前受金収入	1,208,693,000	1,316,160,000	△ 107,467,000	資金支出調整勘定	△ 166,236,973	△ 144,967,110	△ 21,269,863
その他の収入	11,412,670,669	9,622,675,356	1,789,995,313	次年度繰越支払資金	6,764,711,082	6,957,426,149	△ 192,715,067
資金収入調整勘定	△ 1,556,473,132	△ 1,480,775,848	△ 75,697,284	支出の部合計	24,925,829,446	23,957,405,660	968,423,786
前年度繰越支払資金	6,957,426,149	7,688,404,716	△ 730,978,567				
収入の部合計	24,925,829,446	23,957,405,660	968,423,786				

- 資金収支計算書は、消費収支計算書と同様、学校法人会計基準によって定められた計算書類のひとつで、一般の企業会計とは異なる学校法人会計固有の計算書類です。
- 資金収支計算書の目的は、第一に、その年度における教育研究活動、その他の諸活動に対応するすべての収入と支出の内容を明らかにすること、第二に、その年度における資金の収入及び支出のてん末を明らかにすることです。
- 平成25年度の収入の部合計は24,925,829,446円、一方、支出の部のうち人件費支出から資金支出調整勘定までの支出額の合計は、18,161,118,364円でした。その結果、次年度繰越支払資金は、6,764,711,082円となりました。前年度繰越支払資金が6,957,426,149円でしたので、平成25年度決算の支払資金は、平成24年度末と比べて192,715,067円(約2.77%)の減となりました。

## 消費収支計算書 平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位：円)

消費収入の部				消費支出の部			
科目	平成25年度決算	平成24年度決算	増減	科目	平成25年度決算	平成24年度決算	増減
学生生徒等納付金	5,477,956,400	5,429,704,683	48,251,717	人件費	3,748,989,617	3,542,279,675	206,709,942
手数料	100,382,180	110,656,540	△ 10,274,360	教育研究経費	1,906,986,420	1,919,223,006	△ 12,236,586
寄付金	162,151,587	163,864,489	△ 1,712,902	管理経費	795,226,494	769,371,790	25,854,704
補助金	728,832,861	820,921,674	△ 92,088,813	資産処分差額	9,843,967	26,061,384	△ 16,217,417
資産運用収入	33,985,237	37,555,744	△ 3,570,507	徴収不能額	7,589,000	5,722,000	1,867,000
事業収入	120,571,116	118,211,530	2,359,586	[予備費]			
雑収入	98,069,059	106,962,201	△ 8,893,142	消費支出の部合計	6,468,635,498	6,262,657,855	205,977,643
帰属収入合計	6,721,948,440	6,787,876,861	△ 65,928,421	当年度消費収入超過額	81,359,342	0	
基本金組入額合計	△ 171,953,600	△ 799,664,425	627,710,825	当年度消費支出超過額	0	274,445,419	
消費収入の部合計	6,549,994,840	5,988,212,436	561,782,404	前年度繰越消費支出超過額	3,823,346,323	3,548,900,904	
				基本金取崩額	37,758,153	0	
				翌年度繰越消費支出超過額	3,704,228,828	3,823,346,323	

- 消費収支計算書では、その年度における消費収入と消費支出の内容及びその均衡状態を明らかにすることを目的としています。消費収入は、学生生徒等納付金など、学校法人の負債と成らない収入(帰属収入)から基本金組入額を控除して計算します。消費支出は、人件費、教育研究経費等、学校法人の諸活動に伴う支出のほか、減価償却額等資金の支出を伴わない支出も含まれます。
- 基本金は、学校法人会計固有の概念のひとつで、「学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきもの」とされています。これは、企業会計とは異なり、教育研究活動を継続的・安定的に提供することができるかどうかを示す学校法人会計固有の目的を達成するために要請される概念であると言えます。
- 平成25年度の帰属収入は、学生生徒等納付金、事業収入は前年度を上回り、手数料、寄付金、補助金、資産運用収入、及び雑収入が前年度を下回ったため、帰属収入合計では、前年度より65,928,421円減の6,721,948,440円となりました。一方、基本金組入額が前年度を627,710,825円下回ったため、消費収入の部合計は、前年度より561,782,404円上回り、6,549,994,840円となりました。消費支出については、人件費が全体で前年度を206,709,942円、管理経費が25,854,704円それぞれ上回り、教育研究経費が前年度を12,236,586円下回りました。資産処分差額についても前年度を16,217,417円下回りました。また、予備費(50,000,000円)は今年度も未執行でした。これらにより、消費支出の部合計は、前年度を205,977,643円上回り、6,468,635,498円となりました。以上のとおり、消費収入の部の合計が消費支出の部の合計を上回った結果、平成25年度消費収入超過額は81,359,342円となりました。

## 貸借対照表 平成26年3月31日現在

(単位：円)

資産の部				負債・基本金・消費収支差額の部			
科目	平成25年度末	平成24年度末	増減	科目	平成25年度末	平成24年度末	増減
固定資産	24,784,692,072	24,242,157,448	542,534,624	固定負債	1,786,368,379	1,628,622,449	157,745,930
有形固定資産	16,891,531,962	17,448,958,738	△ 557,426,776	流動負債	1,496,187,356	1,571,653,251	△ 75,465,895
その他の固定資産	7,893,160,110	6,793,198,710	1,099,961,400	負債の部合計	3,282,555,735	3,200,275,700	82,280,035
流動資産	7,389,006,888	7,595,948,535	△ 206,941,647	基本金の部合計	32,595,372,053	32,461,176,606	134,195,447
資産の部合計	32,173,698,960	31,838,105,983	335,592,977	消費収支差額の部合計	△ 3,704,228,828	△ 3,823,346,323	119,117,495
				負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	32,173,698,960	31,838,105,983	335,592,977

- 資産の部は、固定資産のうち、有形固定資産については、施設、設備の取得額よりも減価償却額及び除却額(主に小日向テニスコート除却)が上回ったことにより、有形固定資産の差引期末残高は557,426,776円減少し、16,891,531,962円となりました。また、その他の固定資産については、有価証券購入及び特定資産への積立により、全体で1,099,961,400円増加し、7,893,160,110円となりました。流動資産については、全体で206,941,647円減少し、7,389,006,888円となりました。
- 負債・基本金・消費収支差額の部は、固定負債のうち退職給付引当金が157,745,930円増加しましたが、流動負債のうち前受金の減少などにより流動負債全体で75,465,895円減少し、負債の部の合計は82,280,035円増加し、3,282,555,735円となりました。
- 基本金の部は、第1号基本金が134,195,447円増加し、32,595,372,053円となりました。また、消費収支差額の部(翌年度繰越消費支出超過額)は、消費収支計算書における当年度消費収入超過額である81,359,342円及び基本金取崩額37,758,153円が減少ととなって、3,704,228,828円となりました。